



並木中等story

令和3年6月30日号

よい子という病

今日は、春日耕夫先生が著した『よい子という病』（岩波書店）からの話題です。ここで取り上げる“よい子”は“従順な子”です。“従順な子”は周りの人が期待し要求することに応える子どもをいいます。この場合、**従順な子の関心は周りの人が彼を賞賛しているか、どうかに向けられる時があります。**“従順な子・よい子”は他の人からどのように見られているか、どのように思われているかに関心が向きがちになります。当然、そこで葛藤を起こしやすくなります。自分の本当の気持ちと周りを意識して演じている姿が異なるからです。その差が大きくなればなるほど、矛盾を抱えるようになります。その矛盾が起こす悩みが『よい子という病』ということになります。



では、『よい子という病』はどのようにしたらよいか。**無理している部分を少しずつ減らすことです。**

周りの期待に合わせて行動している部分で、自分自身が嫌なところを減らすのです。急がなくていいですよ。できるものから、少しずつ減らしてみてください。そのようにして、飾ったあなたではない、ありのままのあなたを取り戻してください。

《並木中等の生徒会役員選挙で 日本初のインターネット投票を実施！》

7月7日につくば市と共催で日本初のインターネット投票を実施します。これはつくば市のスマートシティー構想に協力し、本校の生徒会役員選挙でインターネット投票の実証実験を行うものです。これには、文部科学省、筑波大学、茨城県教育委員会、KDDI社、LayerX社、xID社の協力を得ています。